

池袋駅東口A・C・D地区地区計画の変更による段階的なまちづくり



凡例： **行政主導によるまちづくり** **公民連携によるまちづくり** **地区計画策定に起因する効果**

□ 取組内容

- 4つの公園を中心としたアトカルハブの形成
- 街並み誘導型地区計画※1、街並み再生方針※1及び高度利用型地区計画※2の検討
※1：2024年策定 ※2：2025年策定

□ 取組によるまちづくりへの効果

Hareza池袋と南池袋公園等のアトカルハブ・スポットの整備により、東西のにぎわいと人の流れが南北へ広がりつつある

□ 取組内容

- 環状5の1号線の開通による駅前通過交通の減少
- 池袋駅東口 駅前クルドサック化
- グリーン大通りの一部歩行者専用道路化
- 東池袋一丁目地区再開発事業（文化・交流機能、交通結節点）
- 東池袋中央公園の整備（新たなアトカルハブの整備（予定））
- 地区計画区域内での建替え・共同化・街区再編が促進
 > 敷地内外におけるアトカルスポットの整備
 > 壁面後退・歩道状空地整備による歩行者空間の充実

人の流れとにぎわいを駅からまちへ広げる都市機能・基盤の創出

□ 取組内容

- 池袋駅東口、西口の街区再編による駅関連施設の更新
- デッキ整備及び地下通路の拡幅等による東西の接続強化
- 地区計画区域内での建替え・共同化・街区再編がさらに促進
 > 敷地内外におけるアトカルスポットの整備
 > 壁面後退・歩道状空地整備による歩行者空間の充実
 > 魅力ある街並みの実現

池袋駅の東西都市軸をつなぎ、ウォークブルなまちづくりを実現